

理學博士 山 本 一 清 主 幹

天 界

(第 23 卷)

第 2 6 8 號

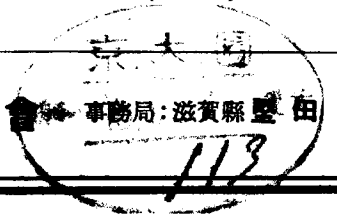
昭和18年

本 號 要 目

卷頭隨筆“天文臺”といふ觀念，等々……………	山 本 一 清	301	
占星術と天文學との關係，その歴史(1)……………	吉 岡 修 一 郎	305	
平山清次博士を悼む……………	山 本 一 清	311	
太陽觀測に就いての希望……………	伊 達 英 太 郎	313	
新著紹介：大圈圖法による肉眼恒星圖……………	小 槇 孝 二 郎	323	
火球の觀測を奨む……………	小 槇 孝 二 郎	324	
火星の物理曆表(2,完)〔紀要87續〕……………	山 本 一 清	326	
窯川一雄君を悼む……………	山 本 一 清	330	
觀測部月報：遊星面・彗星・太陽・黃道光・流星……………		331	
天界問答(2件)……………	310, 330		ラヂオ報時の増加…………… 325
新星の速報……………	322		會告・公告…………… ②
標準天文用語表(20)……………	328		天界正誤表…………… ③
十二月の天象……………	④		會員よりのたより…………… 340 及び ③

別ぐみ頁：ニウカム球面天文學要綱〔4〕…………… (17—24)

本部：田上天文臺 東 亞 天 文 學 會 事務局：滋賀縣 豊 田



東亞天文學會

會員に關する報告 (18. 9. 30 締切)

- 【入會】**
- | | | |
|-------------|------------|------------|
| ×米本 春生(大阪) | 田島 泉生(大阪) | ×湯淺 一經(京都) |
| 黑宮 正郎(津) | 五代 則子(東京) | ×村山善重郎(靜岡) |
| ×植草 富義(東京) | ×福田 守(八戸) | 松倉榮八郎(大阪) |
| 青山 成美(秋田) | 内山 敬光(山口) | 林 妙子(大阪) |
| 南川 惠三(和歌山) | 松原 眞(東京) | 後藤 尙夫(沼津) |
| 谷井 喬子(東京) | 三前千鶴子(和歌山) | 田所 正春(滿洲) |
| 佐竹 眞一(堺) | 本田 正實(大牟田) | 柿原 功(小倉) |
| 伊藤 璋嘉(千葉) | ×後藤 博一(大阪) | ×前田 大作(東京) |
| ×中川 久夫(岸和田) | ×義之 英公(青森) | 高木謙次郎(東京) |
| 野田 吉徳(名古屋) | 巽 幸良(大阪) | ×方得 龍(京城) |
| 牧瀬 義博(大阪) | 河野 和夫(川崎) | ×仁田 大八(大阪) |
| 根木 廣(京都) | 三浦 昭(滋賀) | 波々伯部憲作(西宮) |
| 倉田 敏夫(松坂) | 山口 研二(松坂) | ×渡邊 昭義(東京) |
| ×高橋 瑛(東京) | 久瀨 正(三重) | |

【觀測部入部】 廣田 一郎(宇都宮) (×印は觀測部入部を含む)

【逝去】 木村 榮氏(理博名譽會員)

注意: 御移轉の節には直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。なほ觀測部の方はその旨附記して下さい。(東亞天文學會事務局)

會長	山本 一清	清水 眞一
副會長	木邊 成麿	觀測部長 木邊 成麿
理事長	宮森 作造	經理部長 美田 爲三
專務理事	中村 覺	理事(無任所) 小楨 孝二郎
教育部長	高城 武夫	
報導部長	山本 一清	

本部所在地 田上天文臺(滋賀縣栗太郡上田上村)内
 事務局所在地 滋賀縣堅田局區内
 經營する天文臺 倉敷天文臺(岡山縣倉敷市), 黃道光觀測所(廣島縣沼隈郡瀬戸村)
 大阪支部所在地 大阪市立電氣科學館プラネタリウム内(大阪市四ツ橋)
 臺灣支部所在地 臺北市公會堂内

觀測部

- 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小楨孝二郎, 幹事 宇野良雄)
- 彗星課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
- 小遊星課 (課長 山本一清)
- 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
- 太陽課 (課長 缺, 幹事 靜岡縣志太郡吉永村吉永1768 大石辰次)
- 黃道光課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 倉敷天文臺 本田實)
- 豫報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
- 機軸課 (課長 滋賀縣野洲郡中里村 木邊成麿)
- 寫眞課 (課長 大津市鹿關町 堀井政三)
- 遊星面課 (課長 伊達英太郎, 幹事 佐伯恒夫, 木邊成麿)
- 火星班 (班長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎)
- 木星土星班 (班長 大阪市四ツ橋 電氣科學館 佐伯恒夫)
- 水星金星班 (班長 木邊成麿)
- 掩蔽課 (課長 兵庫縣武庫郡住吉村字大藏1417 高城武夫)
- 月面課 (課長 伊達英太郎)
- 歷史研究課 (課長 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石344 井本 進)

試作プランisphereに添へて

天界 266 は、一ヶ月間待ちつゞけた甲斐有つて、非常に充實したものでした
 が、中にも、先生の Planisphere のお話しは、すぐ實行してみました。一寸
 時間をかけましたら、今までの賣品より、ずつと良いものが出來ました。今ま
 でのものを見ると、オリオンは横にひしやげ、大犬に至つては、足をひろげて
 舌をたらしやうな形でしたが、立體投影法によりますと、ちやんとした形に
 なり、満足してゐます。たゞ、これでは南天が極めて大きくなり、中緯度では
 非常に不便になりますので、月日と時刻とを合はせると、裏にはその時の反對
 側の天を示します。こうしますと、小さくても、そのわりに圖形は大きくなり
 見えやすくなります。他に、プランisphereの見本を見たことが有りませんの
 で、どんなのが有るか知りませんが、實際に作つて、割に便利ではないかと思
 ひます。特に、賣品は天空の形が變になるのが最大欠點と思ひます。それに、
 構造上、一寸無理が有つて、ガタついたり、又は動きにくくなつたりします。
 自作のものでは、北天は天頂よりやゝ南天まで切りぬいてあり、南天では、地
 平線をあらはしてなく(北35°用)、-50°までにして有ります。

1943-9-9 湯淺一經

天界正誤表

		誤	正
第 265 號	第 224 頁, 下ヨリ 1 行目	便利です。	便利です。
第 266 號	第 246 頁, 16 行目	拂つて來て	持つて來て
	第 248 頁, 9 行目	目くばせした	目くばせして
	第 249 頁, 12 行目	西も,	而も,
	第 277 頁, 6 行目	急報 605 號點に	急報 605 號に
	22 卷索引, 第 2 頁, 右 21 行目	マンドロメダ大	アンドロメダ大
	〃, 第 3 頁, 左 12 行目ノ「天王星 20, 21」ヲ「テ」ノ部ニ入レル		
	〃, 第 4 頁, 右 18 行目	Rushell	Russell
第 267 號	表紙第③頁, 3 行目	星圖	星團
	第 288 頁, 21 行目	1913 年	1939 年
	表紙第①頁, 及, 第 289 頁	紀要 86	紀要 87

ニウカムの正誤表及び書き改め

	頁	行	誤	正
正誤	(1)	19	$\frac{d^2u}{d^2x}$	$\frac{d^2u}{dx^2}$
	(3)	18	數の, 對數に 2 乗は,	數の對數に, 其の 2 乗は,
書き改め	(1)	22	R と置けば,	R と書けば,
	(2)	18	1000''	1000'' = 16'40''
	(2)	34	1000''	1000'' = 16'40''
	(3)	3	の差は	の違ひは
	(4)	26		
	(4)	29	何れも, 上の行に續けて書く。	

1943年

十二月の天象

Himmelserscheinungen im Oktober, 1943.

高城氏の所謂“決戦第24月”だ！ 宣戦の大詔を拜して茲に滿2年を経た。先月末日に天王星が對衝であつたが、今月は火星と土星とが次々ぎぎに對衝となり、水星は東方へ極大離角となり、金星も亦前月に西へ極大離角となつた直後で、毎曉の東天を飾つてゐる。いつもと違つて、なかなか賑かな十二月である。

太陽は月の初めから蛇使ひ座の南部を運行してゐて、8日は“大雪”の季節であるが、18日には射手座に入り、23日には極南の赤緯 $23^{\circ}27'$ 即ち冬至點に達する。之が“冬至”の節で、この日より直ちに北上し始める。

月は4日が上弦、12日が満月、20日が下弦、年末に近い27日が新月である。又1日には近地點、17日には遠地點、29日には再び近地點を通過する。

水星は常に宵の星で、24日に極大離角 17° となるが、北半球の我が國では見るのに不便であらう。むしろ白晝に、望遠鏡で見るが宜い。

金星は曉の明星であるが、地球よりは漸次遠ざかり、光度も月初-4.0から月末に-3.7となつて、幾らか減じて行く。

火星は、前月と今月が最も重要な觀測時期である。月の初め、光度は-1.7、視直徑は $17''.6$ となり、地球からの距離は0.541單位であるから、10センチ以上の望遠鏡所有者の書き入れ時である。星座は牛座であるから、これ又、我々日本人には最も恵まれた條件である。伊達課長の注意事項に留意しつゝ、讀者諸氏の熱心な觀測を望む。

木星は夜半以後の天空に可なり高く登つて来る。従つて、表面の模様や、衛星の陰顯などを觀測する人は段々多忙となる。しかし一般の觀望者は、むしろ來年になつてからの方が便利であらう。

土星は此の16日が對衝の時期である。星座は牛座で、位置も高いし、地球からの距離などの關係も良い。多少の寒氣をしのいで、大に觀察すべしである。

天王星も牛座にあつて、逆行中。對衝は前月の月末であつた。これも一年中の觀望の好期節に當つてゐる。

海王星は曉天の星だが、日光中にあつて、觀望の時期でない。

冥王星は夜半直後に南中するので、時期は好いが、大望遠鏡が必要である。

天界 第268號 昭和18年10月22日印刷 〔定價[Ⓔ]金40錢〕合計金43錢
昭和18年10月25日發行 〔特別行為税相當額3錢〕送料金1錢

編輯兼 濑賀縣濑賀郡眞野村大字眞野513 〔東亞天文學會(振替大阪56765)
發行所 日本出版文化協會第2種會員(第220038番)〕

印刷所 京都市上京區上樺木町千本東入 眞美印刷所 橋本岩太郎〔電西陣3702〕

印刷所 京都市神田區淡路町二丁目九番地 日本出版配給株式會社

配給元 京都市神田區淡路町二丁目九番地 日本出版配給株式會社

● 東京出版文化協會 第三十三號 (送付ノ儀)